

# 令和3年度事業報告及び決算を承認

## 第121回理事会議事概要

令和4年5月10日（火）

ビルメンテナンス会館4階

### 第1 お祝い品の贈呈

佐々木会長が令和4年度春の褒章にて藍綬褒章を受章されたため、協会の慶弔・見舞金等支給基準及び役員互助規程に従い、お祝い品を贈呈した。伝達式は5月19日、都庁舎で行われる。

### 第2 審議事項

#### 第1号議案 入会の承認について

その1 正会員 株式会社東海ビルメンテナンス東京支店

その2 正会員 株式会社マイスターエンジニアリング

その3 正会員 有限会社里装企画

標記正会員3社の入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

#### 第2号議案 継続入会の承認について

その1 正会員 株式会社東京ダイケンビルサービス

その2 正会員 株式会社リビエラ

その3 賛助会員 ミッケル化学株式会社東京支社

標記正会員2社、賛助会員1社の継続入会について提案説明があり、それぞれ全会一致で承認された。

#### 第3号議案 令和3年度 事業報告について

以下のとおり提案説明があり、全会一致で承認された

#### ■提案説明

##### ① 建築物の環境衛生の向上に関する事業

調査研究事業では、目に見えないウイルスや汚れについて、計測器等を使用し、清掃の前後で数値比較を行った結果を『清掃状況の見える化に関する調査報告書』としてまとめた。

研修会、講習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から

一部中止や規模縮小を余儀なくされたが、最大限の注意を払い開催した。前年度に比べ、実施回数は5回増の25回、受講者数は144名増の490名だった。セミナーは、「コロナ禍における清掃での適切な知識」と題して、オンラインで実施した。

参考書籍・研修教科書の作成では、企業の協力を得て、障がい者雇用の現場の状況を、動画「障がい者スタッフの1日を追って」にまとめ、ホームページに公開した。

障がい者等自立支援委員会は、障害者技能競技大会に協力しており、昨年12月に東京ビッグサイトで開催された全国大会では、東京都からの参加者が金賞及び銅賞を獲得した。

## ② 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業

警備員に対する講習会は法定教育であるため、感染対策に留意して極力開催、前年を11回上回る65回実施し、受講者数は前年度比223名増の2,003名となった。セミナーは、二酸化炭素消火設備の安全管理対策や警備員の接客マナーなどをテーマに実施した。

参考書籍・研修教科書の作成では、『警備員教本』及び『警備員手帳』を4年ぶりに改訂した。

## ③ 建築設備機器の事故の防止に関する事業

調査研究の実施では、ウイズコロナ・アフターコロナに向けた各社の対応について調査し、冊子にまとめた。

見学会の実施では、JR東日本ビルテック株式会社の協力で最新技術を取り入れた研修センターを見学、墜落・感電等の事故を体感できるVR設備の体験等を行った。

講習会の実習では、マスクの上にフェースシールドを着用するなど、感染防止に最大限留意して開催した結果、前年度と比べ実施回数は7回増の31回、受講者数は214名増の638名となった。セミナーは、「カーボンニュートラル時代における省エネ」をテーマに、オンライン方式で実施した。

## ④ 普及啓発・活用の事業

労働安全関係では、危険予知訓練、リスクアセスメント、労働安全衛生関

係の講習会・セミナーを実施、セミナーでは、高所作業時の熱中症対策と安全確保、安全パトロールや職場巡視、転倒予防・転倒防止などを取り上げた。

求人サイト「東京ビルメンお仕事さがし」をリニューアルするとともに、人手不足対策セミナーを実施した。リニューアルの結果、利用社数や応募数が大幅に増加した。

社会貢献事業では、就労体験を学校及び企業で実施するとともに、障がい児に対する自立支援事業では、特別支援学校に講師を派遣した。また、障がい者就労支援セミナーを開催したほか、日本空港テクノ株式会社の協力を得て、障がい者が活躍している清掃現場の見学会を実施した。

品質改善事業として、品質管理に関する各種講座を実施した。

労働安全衛生大会では、「ビルメンメンテナンス業における転倒災害の防止」をテーマに講演をしていただくとともに、各種表彰を行った。

広報誌は全11回発行、こども絵画コンクールでは、東京地区応募作品の中から優秀作品を選び、カレンダーにして会員及び都内全公立小学校に配付した。

## ⑤ 収益等その他事業

都知事等宛に要望書を提出するとともに、東京都財務局と2回、意見交換した。

短時間労働者の社会保険適用拡大に関する最新の法改正や雇用情勢への対応を目的としたセミナーを実施するとともに、解説リーフレットを作成した。また、最低賃金の上昇と契約改定率との乖離及びそれに伴う経営難について、ビルオーナー向けのリーフレットを作成した。会員概括調査を実施し、回答率は42%だった。

親睦事業では、野球大会、ゴルフ大会、ボウリング大会は、感染拡大防止の観点から中止、新たに都立動物園等への招待や観劇観覧補助を実施した。ビルメンメンテナンス会館は、中期修繕計画に基づき各種の改修工事を実施した。

新年賀詞交歓会は、参加規模を絞り、かつ飲食なしで実施した。

優良従業員表彰はコロナ禍のため式典を中止、受賞者の皆様に表彰状及び記念品を送付した。

オリンピック・パラリンピック競技大会支援事業では、ビルメン事業共同

企業体の一員として選手村ハウスキーピング事業に参画するとともに、その記録を冊子にまとめ、全会員に配付した。

#### 第4号議案 令和3年度 決算について

以下のとおり提案説明及び監査報告があり、全会一致で承認された。

#### ■提案説明

#### 第4号議案-1 令和3年度収支計算書

##### 1 事業活動収支の部

##### (1) 事業活動収入

会費収入は、第2四半期で会費半額減免を行ったため、予算額と決算額の予算差異は、マイナスの2,224万円、収入率は、87%となった。

事業収入は、①建築物の環境衛生の向上に関する事業、②犯罪防止・治安の維持に関する事業、③建築設備機器の事故の防止に関する事業については、感染症対策から受講定員数を50%としたため、収入率が60%前後となった。

④普及啓発・活用の事業収入の収入率は、ビルメンテナンスフェア中止のため、23%だった。

⑤収益等その他事業収入の収入率は、厚生事業の中止、新年賀詞交歓会の縮小開催のため、91%だった。

雑収入は、ビルメンテナンス事業共同企業体からの出資配当金等が2,751万円あった。

以上の結果、事業活動収入計は、予算額3億1,683万円に対し、決算額は2億7,676万円、収入率は87%だった。

##### (2) 事業活動支出

##### ア 事業費支出

##### ①建築物の環境衛生の向上に関する事業費

執行率は、緊急事態宣言発令により、講習会の一部を中止したため、70%だった。

##### ②犯罪の防止・治安の維持に関する事業費

執行率は、感染症対策のため、委員会開催回数が少なく、83%だった。

##### ③建築設備機器の事故の防止に関する事業費

執行率は、大阪協会との情報交換会の中止、講習会の一部中止のため、

88%だった。

④普及啓発・活用に関する事業費

JVからの配当金等を活用し、ホームページをリニューアルした反面、ビルメンテナンスフェアを中止したため、執行率は60%だった。

⑤収益等その他の事業費

JVからの配当金等を活用し、各種研修設備設置工事等を行った反面、厚生事業や新年賀詞交歓会、優良従業員表彰式、オリ・パラ事業報告会の縮小等のため、執行率は85%だった。

イ 管理費支出

JVからの配当金等を活用し、顧客管理システム「キントーン」を導入したものの、全体としては、執行率は99%だった。

以上の結果、事業活動支出計は、予算額3億5,661万円に対し、決算額は3億413万円、85%の執行率となった。

2 投資活動支出の部

投資活動収入、特定預金取崩収入では、4,476万円を修繕積立預金から、2,500万円をオリンピック支援積立預金から取り崩したほか、500万円のビルメン事業共同企業体出資金戻り収入があった。

投資活動支出、特定預金支出は、3,000万円を修繕積立金に、473万円を退職給付引当預金に積み増しした。

差し引き投資活動収支差額は、4,003万円となった。

3 当期収支差額

当期収支差額は1,267万円。これに令和2年度からの前期繰越収支差額1億2,430万円を加えた次期令和4年度への繰越収支額は1億3,698万円となった。

第4号議案-2、令和3年度正味財産増減計算書

正味財産期末残高は、11億198万円となり、前期末と比べ1,965万円の減となった。

第4号議案-3、令和3年度貸借対照表

資産の部の資産合計は、11億9,756万円。負債の部、負債合計は9,558万円

である。

#### 第 4 号議案-4、令和 3 年度正味財産増減計算書内訳表及び第 4 号議案-5、公益会計基準の達成状況について

公益法人の財務基準は、①公益事業比率が 50%以上、②収支相償として、公益事業の経常費用が経常収支を上回ること、③遊休財産の保有額が遊休財産保有限額を超えないことの 3 点である。

①公益事業比率については、公益事業の区分である公 1 から公 4 までの合計は 63%となり、公益事業比率 50%以上を確保できた。

②収支相償については、収支相償の第一段階での公 1 から公 4 の事業費は、各事業で経常費用が経常収益を上回り、マイナスとなっている。また、収支相償の第二段階である会費と入会金の 50%を加えた公 1 から公 4 の合計の経常収益に対しても、経常費用が上回っており、収支相償の基準を確保できた。

③遊休財産保有制限についてだが、令和 3 年度については、公益目的事業経常費用に修繕積立金の増減額の分の一定割合 56.7%を反映した 1 億 7,729 万円が遊休財産の保有制限額となる。

一方、保有する遊休財産額は、正味財産期末残高 11 億 198 万円から、控除対象となる土地・建物・什器備品などを引いた 1 億 4,771 万円となり、制限額に対する保有率は 83%となった。各研修設備工事の実施やホームページリニューアル、顧客管理システム「キントーン」の導入など、会員サービス向上に大きく支出した結果、83%と、比較的余裕のある保有率となった。

以上、公益法人財務基準を全て満たしている。

#### 【監査報告】

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

##### ① 監査の方法

会計監査については、伝票、帳簿及び証拠書類を精査し、計算書類の正確性を検討した。業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事の業務報告の聴取、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続を行い、業務執行の妥当性を検討した。

##### ② 監査意見

決算報告書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を

正しく示していると認める。理事の職務執行に関する不正の行為並びに法令及び定款に違反する事実はないと認める。

#### **第5号議案 永年勤続者表彰候補者について**

以下のとおり提案説明があり、全会一致で承認された。

##### **■提案説明**

定時総会に合わせて、当該年度における永年勤続者表彰を行っているが、役員  
の部では、吉澤理事が16年表彰の候補者となる。そのほか委員の部は、13名で  
ある。

#### **第6号議案 60周年記念式典表彰候補者等について**

以下のとおり提案説明があり、全会一致で承認された。

##### **■提案説明**

60周年記念式典の中で、各種表彰が行われる。表彰及び感謝状に関する規則  
に照らし、東京都からの感謝状、会長表彰、会員表彰対象者を提案する。

都知事感謝状及び福祉保健局健康危機管理担当局長感謝状については、東京都  
で事前審査を行い、交付いただける旨の回答を得ている。

その他会員表彰では、創立時会員、20年以上となる永年会員のほか、委員派  
遣の有無で表彰の種類を5つに分けている。20年未満の会員でも、委員を派遣  
していただいている会員は、表彰対象としている。

### **第3 報告事項**

#### **(1) 会長報告**

##### **ア 創立60周年記念式典及び第56回優良従業員表彰式**

優良従業員の表彰式は、今回創立60周年の記念式典と合同で実施する。  
5月に創立60周年を迎えているが、4月上旬に、来賓、会員の皆様等に  
ご案内した。日時は令和4年6月20日の14時から、会場は東京国際  
フォーラムである。

主賓は、参議院議員であり、公益財団法人東京オリンピック・パラリン  
ピック競技大会組織委員会会長の橋本聖子先生、このほか東京都からも  
来賓をお迎えする。また、全国協会の一戸会長にも祝辞をお願いしている。

その他、都知事感謝状等の授与や会長表彰、永年会員表彰が行われる。

また、記念誌の制作も進んでいるが、分科会の会長である吉澤理事に報告をお願いします。

『60周年史』の内容としては、この10年間の協会の動向、各委員会事業のあゆみ、10年間の各事業の実施状況のほか、今回木村副会長に司会をお願いし、狩野最高相談役、一戸名誉会長、佐々木会長による鼎談を掲載した。過去から未来に向かって、興味深い内容である。

体裁は、4章立てのA4判、120ページとして1,000部印刷する。

現在印刷製本作業に入っており、会員の皆様へは祝賀会翌日の6月21日に記念品と合わせて納品できるように調整を進めている。

## イ 創立60周年記念祝賀会

当初の予定では、立食で祝賀会ができないか検討してきた。この連休明けの感染者数の状況を踏まえつつ、60周年という節目の祝賀会であるため、着席で食事をとっていただくことにした。十分にディスタンスを取り、万全を期した上で開催する。ぜひ皆様のご参加をお願いしたい。

## (2) 全国協会報告 野口東京地区本部長

### ア 2022年定時総会及び第2回会員交流会 in 徳島

全国協会の2022年定時総会及び第2回会員交流会のご案内である。

定時総会は、7月21日木曜日、徳島県徳島市で開催する。また、会員交流会として、総会当日の懇親会等を企画している。代議員には総会に出席いただくが、その他の会員も会場で傍聴できる。総会については、3月25日に全国協会からご案内済みである。

## イ 各実施報告

### (ア) 2021年度 ビルクリーニング技能検定

合格発表は3月31日、全国協会ホームページで公表している。1級の合格者が昨年に比べ倍増し、1,000名を超えた。要因の一つとして、コロナ禍で受験生が学科対策に時間が取れ、学科の合格率が昨年度より上がったため、合格者が増えたのではないかと考えられる。

### (イ) 2021年度 エコチューニング事業

2021年度は、第一種技術者74名、第二種81名が新たに認定を受けた。

また、2016年に認定を受けた技術者を対象に「更新講習」を行い、第一種144名、第二種129名の更新が認定された。これにより全技術者数は第一種591名、第二種889名となった。なお、第一種、第二種とも、資格認定の有効期間は5年である。

エコチューニング事業者の認定では、12の事業者が新たに認定を受け、全認定事業者数は142事業者となった。

#### ウ 新・世界ビルメンテナンス大会開催のお知らせ

第1回新・世界ビルメンテナンス大会であるが、大会開催地はスウェーデンのストックホルムであり、スペインをコースに加えてある。日程は10月10日月曜日の祝日から16日の日曜日までの7日間である。感染症、国際的政情不安によるリスクが大きい場合は中止とし、安全が確保された実施を計画している。役員、会員の皆様には参加を検討いただきたい。

### (3) 委員会報告

#### ア 総務委員会 小出担当理事

##### (ア) 第12回定時総会

開催は6月2日午後2時半から、会場はビルメンテナンス会館2階。

審議事項は、本日までご審議いただいた令和3年度事業報告及び決算のほか、諸規程等の一部改正、令和4、5年度役員立候補者資格等審査委員会委員選任の件の合計4議案である。なお、総会終了後の懇親会は、コロナ禍であることから、実施しない。

総会招集通知は、5月17日に、総会資料を添えて正会員宛に発送する。

同封する出席欠席通知書は、下段部分が、委任状と議決権行使書になっており、総会当日に欠席の正会員には、どちらか一方を、6月1日17時までにご提出いただくことで議決権の行使となる。

なお、昨年定款変更により、電磁的方法による議決権行使が可能となったが、今回、Web上からも議決権行使ができることとした。

総会の後半に還暦のお祝行事を行う。今回6名が該当するが、今後ご案内を送付、出席者のうち代表者1名にお受け取りいただく。欠席者には後日、会社に記念品を郵送する。

## (イ) 名義使用の依頼「第 24 回不動産ソリューションフェア」後援名義

当協会の後援名義使用について依頼があり、検討の結果承認した。催事名称は「第 24 回不動産ソリューションフェア」で、毎年、株式会社ビル経営研究所が主催している。会期は 11 月 29 日から 30 日の 2 日間、池袋のサンシャインシティ展示ホールにて開催される。

## イ 財務委員会

### 令和 4 年度 予算の流用報告

建築物施設保全委員会では、研修設備「二酸化炭素消火設備の模擬パネル」の作成を令和 3 年度に予定していたが、コロナ禍等の影響から、部材調達の遅延が発生したため、令和 4 年 4 月下旬の納入となることと、また、本執行にかかる予算について、令和 4 年度に計上していなかったことから、経理規則第 21 条に基づき、同委員会所管の令和 4 年度予算内での流用をしたいとする旨の申し出があった。

財務委員会としては、中科目間の予算流用であり、同委員会での承認を得ていることから、4 月 25 日開催の財務委員会において、本予算流用を承認した。

## ウ 労務管理委員会

### 今こそ学ぶ これからの転倒予防・防止セミナーの実施報告

3 月 30 日、講師として森井梢江様をお招きし、セミナーを実施した。近年の業界の労働災害の半分近くを占める転倒について、災害の傾向や現場責任者などが転倒防止の教育をする際のやり方について分かりやすく解説していただいた。

また、転倒防止用の動画を活用した実技指導や実際に滑りやすい環境を想定した安全靴の体験会も実施した。

参加者は 33 名で、アンケートから、有意義なセミナーであったとの評価をいただいた。

## エ 厚生委員会

### 第 58 回東京都交響楽団演奏会特別招待募集の案内

今年度 1 回目の東京都交響楽団演奏会招待の募集を開始した。演奏会

の日時は6月13日月曜日19時開演。会場は東京文化会館で、15組30名を招待する。申込みについては、5月26日まで、協会ホームページで受け付けている。

## オ 広報委員会

### ホームページリニューアルの実施

令和3年度事業として協会ホームページのリニューアルを実施し、4月1日から公開している。

主な変更点は、サイトの全体的なレイアウトを一新したほか、各講習会の詳細ページの追加や賛助会員のバナー広告のトップページへの掲載等を行ったことである。このほか、講習会へのWeb申込み、受講表及び請求書の自動発行、協会発行書籍の販売等を行うECサイトの制作を行っており、10月1日の開設を予定している。サイト開設後には、改めて報告する。

## カ 建築物衛生管理委員会

### 『清掃状況の「見える化」に関する調査報告書』の作成報告

この報告は、主に、目に見えない汚れを数値化する試みとして、測定器を施設の用途の異なる3つの現場で使用した実態調査の結果をまとめたものである。今後ますます衛生管理を求められる中、清掃の点検の補助用具として、測定器を使つての併用点検が広がっていくのではないかと思われる。本測定器の導入を検討されている企業の皆様の参考となれば幸いである。

## キ 警備防災委員会

### 警備員のためのおもてなしセミナーの実施報告

3月14日、商業施設や駐車場などで働く警備員を対象にセミナーを開催した。参加者数は30名だった。

元ホテル支配人であるマナー講師を招き、おもてなしの考え方から、声の表情やつくり方の実践まで接客の心得についてご講演いただいた。受講者アンケートでは「参考になった」という感想が多く、好評いただいた。

## ク 建築物施設保全委員会

### (ア) カーボンニュートラル時代における省エネセミナーの実施報告

「カーボンニュートラル時代における省エネ」をテーマに、3月4日にオンラインセミナーを実施した。セミナーでは、省エネの進め方や省エネ診断事例、BEMS データを活用したエネルギー管理について、詳しく説明いただいた。参加者は31名だった。

### (イ) 調査研究結果報告書

#### 『ウイズコロナ・アフターコロナに向けた対応』の作成報告

新型コロナウイルス感染症対策について、各社が社内や現場において、どのような対応を行っているのかを調査した結果を冊子としてまとめた。

報告書は、1章として各社の対応と対策事例、2章にビルメンテナンス会館で実施した建物PCR検査の結果報告、3章にパンデミックについての記載がある既刊マニュアルの紹介を記載している。今後の対策に活用していただきたい。

## ケ 障がい者等自立支援委員会

### 令和3年度 特別支援学校清掃巡回指導の実施報告

令和3年7月から令和4年2月にかけて、東京都の特別支援学校において、清掃巡回指導を行った。

就労体験指導として、学校での指導と企業での就労体験を1校10回行った。また、清掃検定対策指導を15校15回、清掃親子教室を9校13回、合計38回の指導を、児童生徒447名に対して実施した。実施した学校からは、「とてもよい指導であり、令和4年度も継続して実施していただきたい」との感想があった。今年度も同様の事業を実施予定である。

## コ 全国協会東京地区代議員選挙管理委員会

### 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会の代議員変更

東京協会選出の代議員のうち、木村健司代議員については、3月末にANAスカイビルサービス株式会社を退任されたことから、全国協会の代議員を退任、後任に横田英雄氏を届け出た。

## サ ビルメンテナンスフェア実行委員会

### ビルメンテナンスフェア TOKYO2022 の進捗状況

7月14日・15日に開催するビルメンテナンスフェア TOKYO2022 の進捗状況だが、出展者は、前回開催した2018年より1社多い30社である。特別講演は、国際ビジネス&スポーツアナリストのタック川本氏をお招きし、メジャーリーグ球団経営を通じて得た経営戦略や人材育成について講演いただく。また、清掃・労務・品質管理に関する協会セミナーと、出展者によるセミナーも開催する。

今回は、消毒液などコロナ対策関連の商品と、SDGsに関連した商品の展示ブースを設置するほか、会期終了後には、ご来場いただけなかった方向けにバーチャル展示会を実施する。

## (4) 他団体への派遣報告

### ア 経済産業省

経済産業省からの依頼に基づき、当該庁舎の管理・運營業務評価委員会委員として、高橋専務理事が推薦された。期間は令和5年の3月末まで。

### イ 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

全国協会からの依頼に基づき、第42回全国障害者技能競技大会、いわゆるアビリンピックの専門部会専門委員主査として、当協会専任講師の北山克己氏を推薦した。期間は令和5年の3月末まで。

## (5) 代表理事・業務執行理事の活動報告

### 令和3年10月から令和4年3月までの活動報告

法人一般法91条第2項及び定款24条5項に基づき、半期に1度の代表理事及び業務執行理事の活動報告を行う。

代表理事の佐々木会長は、三役会を主宰したほか、労働安全衛生大会に出席、挨拶を行った。

木村副会長、野口副会長、梶山副会長については、三役会への出席、担当委員会への出席のほか、野口副会長には、東京都警備業協会創立50周年記念式典に出席し、祝辞を述べていただいた。梶山副会長については、労働安全衛生委員会への出席のほか、東京都財務局との意見交換会、経済産業省と

の意見交換会に出席した。

高橋専務理事は、三役会、委員会、委員会主催の行事への出席のほか、事務局業務の総括的運営を行った。

一戸名誉会長については、三役会に出席し、各種助言をいただいた。

## (6) 事務局報告

### ア 主な出来事

3月1日：第119回理事会、地区本部会議

受水槽室やドライエリア、2階床など、会館内の工事や研修室の机、椅子等備品の交換を実施。

4月1日：協会ホームページリニューアル

5日：三役会

25日：令和3年度決算監査

通信設備の刷新、1階更衣室・給湯室等の改修工事を実施

### イ 今後の予定

6月2日：第12回定時総会

7日：三役会

20日：60周年記念式典及び優良従業員表彰式(東京国際フォーラム)

7月5日：三役会及び第122回理事会

12日：東京地区代議員会議

14・15日：ビルメンテナンスフェア TOKYO2022

(都立産業貿易センター浜松町館)

21日：全国協会定時総会(徳島市)

9月6日：三役会及び第123回理事会

### ウ 会員数の推移

正会員 512 社、賛助会員 69 社 (5月1日現在)

## 第4 その他

協会では、5月から10月末まで、クールビズを実施している。

(了)